

社会福祉法人 新潟みずほ福社会

令和2年度事業報告

## 令和2年度 事業報告書

(自) 令和2年4月1日 (至) 令和3年3月31日

## 1 法人の概要

主たる事務所の所在地 新潟市西区みずき野1丁目6番11号	電話番号 025 (211) 8660	代表者氏名 和田晋弥
法人許可年月日 昭和50年8月29日	法人許可番号 厚生省社第800号	設立登記年月日 昭和50年9月30日

## 2 法人の行う事業

※職員数は令和3年3月1日現在

事業名	拠点名	実施サービス名	代表役職・名	職員数
社会福祉事業	本部		本部長 渡辺幸治	職員14名
	障害者支援施設 新潟みずほ園	施設入所支援50名 生活介護60名 短期入所・日中一時支援3名	施設長 田中 順	職員42名 嘱託医1名
	障害者支援施設 みのり園	施設入所支援50名 生活介護60名 短期入所・日中一時支援4名	施設長 渡邊晴美	職員41名 嘱託医1名
	障害者支援施設 第2みずほ園	施設入所支援50名 生活介護60名、 短期入所・日中一時支援3名	施設長 瀧澤千代美	職員43名 嘱託医1名
	工房はたや	就労支援事業B型24名 自立訓練6名 日中一時支援2名	所長 田中敦子	職員8名
	障がい者(児)生活支援センター わぁ〜らく	指定特定計画相談支援 指定障がい児相談支援 新潟市委託相談支援	管理者 海老郁夫	職員7名
	檜の木	もみじ 4名 あじさい5名 CHみずき野老番館7名 CHみずき野式番館5名 さくら老番館6名 さくら式番館6名 さくら参番館6名	管理者 小西幸弘	職員31名
	みっと	居宅介護、同行援護、行動援護 新潟市移動支援	管理者 海老郁夫	職員3名
	おおらい	生活介護20名 日中一時支援3名	管理者 海老郁夫	職員6名 嘱託医1名

### 3 評議員・役員等の状況

役職名	氏名	現就任年月日	備考
評議員	村山六郎	平成29年4月1日	
評議員	真島福一	平成29年4月1日	
評議員	大嶋喜芳	平成29年4月1日	
評議員	小林建	平成29年4月1日	
評議員	矢部三次	平成29年4月1日	
評議員	吉田育子	平成29年4月1日	
評議員	長井正雄	令和3年1月26日	
理事	和田晋弥	令和元年6月18日	理事長
理事	塚田正幸	令和元年6月18日	
理事	野澤慎吾	令和元年6月18日	
理事	渡辺幸治	令和元年6月18日	常務理事
理事	多賀邦夫	令和元年6月18日	
理事	海老郁夫	令和元年6月18日	
監事	小柴昭彦	令和元年6月18日	
監事	鈴木昭	令和元年6月18日	

## 4 事業概要

当法人は、障害者支援施設「新潟みずほ園」、「みのり園」、「第2みずほ園」、就労継続支援・自立訓練「工房はたや」、共同生活援助「檜の木」、相談支援「わあ〜らく」、居宅介護・移動支援「みっと」、生活介護「おおらい」で、在宅障がい児者の短期入所及び日中一時支援を経営し、障がい者福祉の増進に寄与してきた。

令和2年度における主な業務の実施状況は、次のとおりである。

### 〔新潟みずほ福祉会〕

- 1 理事会を5回（内2回は決議の省略）、評議員会を4回（内3回は決議の省略）開催した。（資料参照）
- 2 新生活介護事業所「おおらい」を開所した。
- 3 新型コロナウイルス感染症緊急包括支援事業補助金等を活用し、感染防止のため衛生用品の確保やアクリル板等を整備した。
- 4 本部事務員を中心にテレワーク勤務の試験的導入を行った。
- 5 利用者の健康管理のため、嘱託医等による健診を実施した。
- 6 職員の健康診断を健康医学予防協会により実施した。（直接支援職員は年2回）
- 7 日本歯科大学新潟病院の協力を得て、新潟みずほ園、みのり園及び第2みずほ園の利用者の歯科検診と診療を実施した。
- 8 働き方改革に対応する目的で、引き続き玉木社会保険労務士と契約し、就業規則や規程等の一部見直しを行った。
- 9 川原経営総合センターと契約し、施設建て替え計画に伴う経営診断や人事評価制度の見直しを行った。
- 10 地域における公益的取組
  - ・新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会
  - ・にいがたセーフティネット事業
- 11 社会貢献活動
  - ・講師派遣（行政、社会福祉協議会、各種福祉機関研修）：新型コロナウイルス感染予防のため中止とした。
  - ・行政、地域福祉団体等の委員就任
  - ・施設開放、地域行事協賛等
- 12 利用者家族等から寄付金を受けた。
- 13 本年度の苦情申し立てはありませんでした。

## 5 理事会・評議員会開催状況

### (1) 理事会

日時及び場所	審議事項
令和2年4月24日 (決議の省略:決議があったとみなされた日)	1 定款の変更 2 役員等報酬規程の一部改正 3 評議員会の招集
令和2年6月8日 13:30～14:30 総合支援センター	1 令和元年度事業報告 2 令和元年度決算書類 3 経理規程の一部改正 4 運営規定の一部改正 5 令和2年度第1次補正予算 6 評議員会の招集
令和2年12月17日 11:00～11:30 総合支援センター	1 役員を選任 2 評議員会の招集(決議の省略) 3 預り金等管理規定制定 4 多機能型事業所「工房はたや」の事業変更及び運営規定の一部改正
令和3年1月18日 (決議の省略:決議があったとみなされた日)	1 理事会にかかる提案書「評議員候補者推薦」
令和3年3月24日 13:30～15:00 総合支援センター	1 令和2年度第3次補正予算 2 令和3年度事業計画・収支予算 3 定款の一部改正 4 役員等報酬規程の全部改正 5 評議員選任・解任委員運営細則の一部改正 6 就業規則・育児介護休業規程の一部改正 7 継続雇用職員契約取扱要領制定 8 テレワーク勤務規程制定 9 給与規程・経理規程・旅費規程・運営規程の一部改正 10 評議員候補の推薦 11 役員推薦及び常務理事の選任 12 評議員会の招集

(2) 評議員会

日時及び場所	審議事項
令和2年5月3日 (決議の省略:決議があったとみなされた日)	1 定款の変更平成30年度事業報告及び決算認定 2 役員等報酬規程の一部改正
令和2年6月24日	1 令和元年度決算書類 (新潟みずほ福祉会事業活動収入推移、財産の増減)
令和2年12月25日 (決議の省略:決議があったとみなされた日)	1 理事の解任、選任
令和3年4月1日 (決議の省略:決議があったとみなされた日)	1 定款の一部改正 2 役員等報酬規程の全部改正 3 理事の解任、選任

(3) 評議員選任・解任委員会

日時及び場所	審議事項
令和3年1月26日 13:30~14:00 総合支援センター	1 評議員候補者の選任

## 【新潟みずほ園】

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。  
障害支援区分：区分6～42名・区分5～6名 区分4～2 区分3～1 平均区分：5.7  
利用率：施設入所支援99.2%・生活介護90.7%・短期入所55.0%
- 2 利用者の動向  
退所6名（死亡1名、医療3名、在宅1名、他施設1名）、入所6名  
利用者の年齢は平均60歳9ヶ月（男性62歳5ヶ月、女性59歳3ヶ月）  
最年少32歳、最年長84歳で、65歳以上の方は21名となっている。
- 3 令和2年度の取り組み
  - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
  - (2) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
  - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
  - (4) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実に努めた。
  - (5) 潤いのある生活構築のため、余暇支援、各種行事を適宜実施した。
  - (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
  - (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
  - (8) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
  - (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。
  - (1) 居室エアコン12台入替工事 3園総額 6,725,400円（5年リース）
  - (2) マキシツインバッテリー交換 338,800円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
  - (1) 短期入所・日中一時支援等受け入れ状況
    - ① 短期入所 延べ 602名
    - ② 日中一時支援 延べ 1名
  - (2) 災害等特例入所者 延べ 365名
  - (3) 実習生受け入れ中止 0名 延べ 0日（新型コロナウイルス感染症予防のため）
  - (4) ボランティア受け入れ状況 延べ 0名
  - (5) 地域行事への参加、地域学校との交流中止（新型コロナウイルス感染症予防のため）
  - (6) 職員の講師派遣中止（新型コロナウイルス感染症予防のため）
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。（新型コロナウイルス感染症の影響により中止や変更があった）
- 7 新型コロナウイルス感染症対策として次のことを行った。
  - (1) 感染発生時に備え、マニュアルの作成、感染対策用品の整備を行った。
  - (2) 利用者への面会は、指定された場所で30分以内に限定した。
  - (3) 利用者の外出、外泊は自粛をお願いした。
  - (4) 業者対応は、緊急の修理等の場合を除き、玄関先で行った。
  - (5) 来園者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載をお願いした。また、体調不良の方や県外への移動があった方には来園を遠慮いただいた。
  - (6) 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。また、県外への移動の自粛を呼びかけ、やむを得ず出かける場合は、事前に申し出て許可を得て、帰宅後一週間は健康観察のため自宅待機とした。

事業概要

1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
令和2.7月	県身協オセロ交流会 (下越地区)	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
8.19	夕 涼 み 会	園 内 園 前 庭	利用者、職員	73
9月	みずほ福社会まつり	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10月	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10月	親子三代ふれあい会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
12.16	忘 年 会	園 内	利用者、職員	73
令和3.1.20	新 年 会	園 内	利用者、職員	73

検診等の実施状況

実施日	検診内容	場 所	対象者	人数	検診機関
令和2.5月 ~7月	胸部X線間接撮影	信楽園あかつ か診療所	利 用 者	51名	信楽園あかつか診 療所他
4月~6月	職員定期健康診断	健康医学予防協会	職 員	43	健康医学予防協会
8.26	生活習慣病予防検診	園 内	利 用 者	51	嘱託医
10月	歯 科 検 診	新型コロナウイルス感染症予防のため中止			
5.20 10.7	内 科 検 診	園 内	利 用 者	49 50	嘱託医
11.11	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利 用 者 職 員	49 42	嘱託医
12.9	職員定期健康診断	第2みずほ園	直接処遇 職 員	28	健康医学予防協会



### 3 防災訓練等の実施状況

#### (1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
令和2.5.20 10:30～	避難訓練	11分28秒	職員 5名	第一避難場所
9.23 10:10～	水害避難訓練	20分00秒	職員 9	地域交流 ホーム1階
11.25 10:30～	三園合同訓練	17分54秒	職員 4	利用者待機訓練 職員第2へ応援
令和3.2.24 14:00～	地震想定訓練	11分20秒	利用者・職員 45	ふれあい ルーム

#### (2) 緊急連絡網による通報訓練（火災メールシステム）

実施日時	所要時間	備考
令和2.6.8 14:50～	7分56秒 7名	消防への誤報対応
12.8 15:40～	17時間以内の返信者 45名	事前連絡なし
令和3.1.25 15:15～	17時間以内の返信者 45名	事前連絡なし

#### (3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和2.4.8 14:40～	防災研修	職員 5名	消防設備説明
7.29 10:30～	消火器訓練	職員 9名	
8.9 15:00～	放水訓練	職員 9名	
10.21 10:00～	防災研修	職員 7名	DVD視聴
令和3.1.18～29	防災研修	職員 30名	オンライン視聴

## [みのり園]

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。  
障害支援区分：区分6～33名、区分5～15名、区分4～2名 平均区分：5.6  
利用率：施設入所支援 94.3%・生活介護 88.7%・短期入所 102.9%
- 2 利用者の動向  
退所：2名 入所：3名  
利用者の年齢は平均51歳9か月（男性49歳8ヶ月、女性53歳1ヶ月）、最年少は20歳、最年長は81歳で、65歳以上の方は13名となっている。
- 3 令和2年度の取り組み
  - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
  - (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
  - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
  - (4) 栄養ケア計画に基づき食の安全、嗜好、季節感に配慮し食生活の充実に努めた。
  - (5) 施設生活に潤いと変化を与えるため、各種の行事を実施した。
  - (6) 日中活動として、歩行、運動、アルミ缶プレス、農園芸、創作活動を実施した。
  - (7) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
  - (8) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
  - (9) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束の軽減、行動制限廃止に努めた。
  - (10) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
  - (11) 踊り子ワークショップに8月～12月の期間、5回参加した。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。

(1) 男女棟トイレ改修工事	2,970,000円
(2) 居室等エアコン11台入替え工事	2,090,000円（5年リース）
(3) 低床ベッド3台導入	1,125,850円（5年リース）
(4) 厨房湿温蔵庫（真柄福祉財団助成あり）	1,069,200円（5年リース）
(5) 高圧設備取替工事	1,034,000円
(6) 浴室給湯器入替工事	916,630円
(7) デイルーム間仕切り工事	561,000円
(8) 女性棟居室カギ交換	462,000円
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
  - (1) 短期入所・日中一時支援の受け入れ状況
    - ① 短期入所 延べ 1,504名
    - ② 日中一時支援 延べ 260名
  - (2) 実習生の受入れ状況 0名（新型コロナウイルス感染症予防のため）
  - (3) ボランティアの受入れ状況 32名（理美容のみ）
  - (4) 地域行事への参加、地域学校との交流中止（新型コロナウイルス感染症予防のため）
  - (5) 職員の講師派遣中止
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。（新型コロナウイルス感染症の影響により中止や変更があった）

- 7 新型コロナウイルス感染症対策として次のことを行った。
- (1) 感染発生時に備え、マニュアルの作成、感染対策用品の整備を行った。
  - (2) 利用者への面会は、指定された場所で30分以内に限定した。
  - (3) 利用者の外出、外泊は自粛をお願いした。
  - (4) 業者対応は、緊急の修理等の場合を除き、玄関先で行った。
  - (5) 来園者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載をお願いした。また、体調不良の方や県外への移動があった方には来園を遠慮いただいた。
  - (6) 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。また、県外への移動の自粛を呼びかけ、やむを得ず出かける場合は、事前に申し出て許可を得て、帰宅後一週間は健康観察のため自宅待機とした。

#### 事業概要

##### 1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
令和2.4月	観桜会・昼食会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
6月	レクリエーション 交流会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
7月	七夕	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
9月	みずほ福祉会まつり	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10月	親子三代ふれあい会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
12.24	クリスマス忘年会	園 内	利用者、職員	73
令和3.1.13	新年会	園 内	利用者、職員	73
2.2	節分	園 内	利用者、職員	74
3月	ひなまつり	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

##### 2 検診等の実施状況

実施日	検診内	場 所	対象者	人数	検診機関
令和2.5.7	利用者健康診断 胸部X線間接撮影	園 内	利用者	45	健康医学予防協会
5.20	職員定期健康診断	第2みずほ園 健康医学予防協会	職 員	40	健康医学予防協会
5.26	風疹抗体検査	園 内	利用者	2	嘱託医
5.26	前立腺がん検診	園 内	利用者	2	嘱託医
5.29	大腸がん検診	園 内	利用者	37	嘱託医
7.8	肺炎球菌予防接種	園 内	利用者	4	嘱託医

7.8	風疹予防接種	園内	利用者	1	嘱託医
8.6	内科検診	園内	利用者	49	嘱託医
11.5	インフルエンザ 予防接種	園内	利用者 職員	47 41	嘱託医
12.9	職員定期健康診断	第2みずほ園	直接処遇 職員	32	健康医学予防協会
令和3.1.19	内科検診	園内	利用者	49	嘱託医

### 3 防災訓練等の実施状況

#### (1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者および人数	避難場所
令和2.5.19 10:10～	夜間火災想定避難 訓練(模擬)	10分00秒	利用者・職員50名	体育館
9.18 10:45～	水害避難訓練	8分38秒	利用者・職員45名	各居室
11.25 10:35～	三園合同避難訓練 (日中火災想定)	17分54秒	利用者・職員46名	各居室
令和3.2.22 10:30～	地震避難訓練	7分58秒	利用者・職員50名	各居室
3.20 10:30～	日中火災想定 避難訓練	10分00秒	利用者・職員52名	体育館

#### (2) 火災通報装置・火災一斉メールによる通報訓練

実施日時	所要時間	備考
令和2.6.11 10:35～	17時間以内返信者33名	事前連絡あり
12.8 10:30～	17時間以内返信者9名	事前連絡あり

#### (3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和2.4.23 13:30～ 24 16:00～ 26 14:00～	防災研修	職員5名	防災機器取扱説明
7.12 13:30～	消火器訓練	職員7名	
8.28 14:50～	放水訓練	職員5名	
令和3.1.18 11:45～	非常食体験会	全員参加	

#### 備考

- ・5月実施の三園合同避難訓練(消防団立ち合い)は新型コロナウイルス感染症予防のため中止。
- ・11月実施の三園合同避難訓練(消防署立ち合い)は新型コロナウイルス感染症予防のため中止。

## [ 第2みずほ園 ]

- 1 障害者支援施設として、適正な事業運営に努めた。  
障害支援区分：区分6～41名・区分5～6名・区分4～3名・区分3～1名 平均区分：5.7  
利用率：施設入所支援98.1%・生活介護89.7%・短期入所80.5%
- 2 利用者の動向  
退所6名(医療機関4名 死亡1名 在宅1名)、入所7名  
利用者の年齢は平均57歳3ヶ月(男性59歳4ヶ月、女性55歳2ヶ月)  
最年少20歳9ヶ月、最年長は84歳9ヶ月、65歳以上は16名となっている。
- 3 令和2年度の取り組み
  - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
  - (2) インシデント・アクシデント報告を基にしたリスクマネジメント(安全対策)と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
  - (3) 定期健診等を実施し、病気の早期発見・早期治療、健康管理に努めた。
  - (4) 栄養ケア計画に基づき、食の安全、嗜好、季節感に配慮し、食生活の充実に努めた。
  - (5) 行事、サークル活動を実施し、生活の潤いに努めた。
  - (6) 作業療法士を中心に、利用者の機能維持訓練及び余暇の充実に努めた。
  - (7) 避難訓練等を実施し、防災・安全対策に努めた。
  - (8) 利用者の権利擁護の視点から、身体拘束軽減、行動制限廃止に努めた。
  - (9) 在宅障がい者福祉の増進に努めた。
- 4 利用者の住環境等整備として次の事業を行った。

(1) 高圧気中開閉器取替工事	891,000円
(2) 居室エアコン分解洗浄	2園総額 517,500円
(3) 加湿器	323,000円
(4) ティーサーバー	468,000円(@7,150×72 リース)
(5) 厨房用大型冷蔵庫	655,200円(@10,010×72 リース)
(6) 居室エアコン入替14台	3園総額 6,725,400円(5年リース)
- 5 地域の社会資源として次のことを行った。
  - (1) 短期入所・日中一時支援受け入れ状況
    - ① 短期入所 延べ 881名
    - ② 日中一時支援 延べ 0名
  - (2) 実習生受け入れ状況 0名 延べ 0名 (新型コロナウイルス感染症予防のため)
  - (3) ボランティア受け入れ状況 0名 延べ 0名 (新型コロナウイルス感染症予防のため)
  - (4) 地域行事への参加、地域保育園・学校との交流中止(新型コロナウイルス感染症予防のため)
  - (5) 職員の講師派遣中止(新型コロナウイルス感染症予防のため)
- 6 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外各種研修・会議への参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。(新型コロナウイルス感染症の影響により中止や変更があった)
- 7 新型コロナウイルス感染症対策として次のことを行った。
  - (1) 感染発生時に備え、マニュアルの作成、感染対策用品の整備を行った。
  - (2) 利用者への面会は、指定された場所で30分以内に限定した。
  - (3) 利用者の外出、外泊は自粛をお願いした。
  - (4) 業者対応は、緊急の修理等の場合を除き、玄関先で行った。

- (5) 来園者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載をお願いした。また、体調不良の方や県外への移動があった方には来園を遠慮いただいた。
- (6) 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。また、県外への移動の自粛を呼びかけ、やむを得ず出かける場合は、事前に申し出て許可を得て、帰宅後一週間は健康観察のため自宅待機とした。

## 事業概要

### 1 主要行事等の実施状況

実施日	行事名	場 所	参加者	人数
6.28	県身協オセロ交流会 (下越地区)	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
8.5	納涼メニュー	園 内	利用者	52
9.28	みずほ福祉会まつり	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10.8	県身協スポーツ交流会 (下越地区)	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
10.14	親子三代ふれあい会	新型コロナウイルス感染症予防のため中止		
12.16	忘 年 会	園 内	利用者、職員	67
令和3年1.20	新 年 会	園 内	利用者、職員	68

※国民の年中行事にちなんだ食事を提供した

### 2 検診等の実施状況

実施日	検診内容	場 所	対象者	人数	検診機関
令和2年 5.7~6.1	胸部X線間接撮影	信楽園あかつか診療所	利用者	38	信楽園あかつか診療所他
~6.30	職員定期健康診断	健康医学予防協会	職 員	41	健康医学予防協会
5.27	生活習慣病予防検診	園 内	利用者	39	嘱託医
7.29	内 科 検 診	園 内	利用者	49	嘱託医
12.29	肺炎球菌予防接種	園 内	利用者 65歳以上	2	嘱託医
	歯 科 検 診	新型コロナウイルス感染症予防のため中止			
11.4	インフルエンザ 予 防 接 種	園 内	利用者 職 員	49 41	嘱託医
12.9	職員内科検診	第2みずほ園 健康医学予防協会	直接処遇 職 員	30	健康医学予防協会
1.13	内 科 検 診	園 内	利用者	48	嘱託医

### 3 防災訓練等の実施状況

#### (1) 避難訓練

実施日時	訓練種別	所要時間	参加者及び人数	避難場所
令和 2. 5. 27 14:00～	避難訓練 (夜間想定)	17分53秒	利用者・職員 47名	第一避難場所
11. 25 10:30～	三園合同訓練	17分54秒	利用者・職員 50名	第一避難場所

#### (2) 緊急連絡網による通報訓練（火災メールシステム）

実施日時	所要時間	備考
令和 2. 6. 11 9:20～	指定時間以内の返信者 37名	事前連絡有
12. 9 14:30～	指定時間以内の返信者 33名	ホットライン使用 事前連絡有
令和 2. 2. 20 10:30～	指定時間以内の返信者 32名	ホットライン未使用

#### (3) その他

実施日時	訓練種別	参加者及び人数	備考
令和 2. 4. 24 27 9:30～	防災研修	新任職員 5名	消防設備、避難経路説明
7. 22 14:50～	消火器訓練	職員 25	
令和 2. 1. 30 14:00～	防災研修	利用者・職員 24名	DVD 上映
3. 17 14:00～	消火器訓練 (水消火器)	職員 8名	

## [ 工房はたや ]

- 1 多機能型事業所[就労継続支援B型、自立訓練（生活訓練）事業]として、適正な事業運営に努めた。
- 2 利用者の動向  
男性3名、女性4名退所、女性1名が利用を開始。  
通所利用登録者27名（男性13名、女性14名）※新潟市26名 燕市1名  
登録利用者の平均年齢は37.6歳、最年少20歳 最年長68歳となっている。
- 3 令和2年度の取り組み
  - (1) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
  - (2) インシデント・アクシデント報告を基にした、リスクマネジメント（安全対策）と各種マニュアルの周知、徹底、見直しに努めた。
  - (3) 自主製品として、大豆まるごと豆腐『豆天使』製造・資源回収等を実施した。
  - (4) 授産作業として、養生シート洗浄作業・配管キャップ洗浄作業・タオル梱包・封入・委託作業（新潟県・新潟市）及び自主製品・仕入商品の販売などを実施した。
  - (5) 法人入所施設にて委託作業（除草、清掃などの環境整備）を実施した。
  - (6) 園芸作業・福祉の店パレット販売業務の施設外就労を実施した。
  - (7) 大豆まるごと豆腐『豆天使』製造・全ての販売を令和2年11月に終了した。
  - (8) 委託先からの申出により園芸作業を令和2年12月に終了した。
  - (9) 自立訓練事業を令和3年3月末日で廃止した。
  - (10) 事業所内行事は、8月そうめん行事、12月忘年会、1月新年会を実施した。
  - (11) 避難訓練は11月と3月に実施した。
- 4 地域の社会資源として次のことを行った。

地域イベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止により中止となる。  
また、地域への美化活動として、ごみ拾い、除草を行った。

  - (1) 出張販売・イベント参加  
新型コロナウイルス感染症予防のため参加せず
  - (2) 日中一時支援受け入れ状況 0名 延べ0日
  - (3) 実習の受け入れ状況 延べ0名（新型コロナウイルス感染症予防のため）
  - (4) ボランティア受け入れ状況 延べ0名（新型コロナウイルス感染症予防のため）
- 5 職員の資質向上を図るため、施設内研修、施設外研修・会議へは参加を推進し、専門知識、技能の習得に努めた。（新型コロナウイルス感染症の影響により中止や変更があった）
- 6 新型コロナウイルス感染症対策として次のことを行った。
  - (1) 感染発生時に備え、マニュアルの作成、感染対策用品の整備を行った。



- (2) 緊急事態宣言発令時は4月20日～5月6日まで閉所した。
- (3) 緊急事態宣言解除後は分散型での通所を再開、6月から平常通りの通所とした。
- (4) 利用者には毎日の体温チェック、手指消毒を徹底し、事業所内は常時換気、仕切り板の設置、食事は場所を分散し時間差で摂取した。
- (5) 来所者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載をお願いした。また、体調不良の方や県外への移動があった方には来園を遠慮いただいた。
- (6) 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。また、県外への移動の自粛を呼びかけ、やむを得ず出かける場合は、事前に申し出て許可を得て、帰宅後一週間は健康観察のため自宅待機とした。

[ 障がい者(児)生活支援センターわぁ〜らく ]

1 指定特定相談支援事業、指定障がい児相談支援事業

(1) サービス等利用計画およびモニタリング作成実績 (単位/件)

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	小計	計
者	計画		15	20	27	22	21	16	24	14	11	21	18	29	238	895
	モニタリング		63	49	44	50	48	57	67	57	47	57	56	62	657	
児	計画		7	5	4	4	4	5	4	3	4	4	6	3	53	128
	モニタリング		9	8	10	4	6	3	7	8	4	4	7	5	75	

※特定事業所加算対象

計画相談契約者数：382名（内、児童43名）※令和3年3月末日現在

内、新規契約者：25名（内、児童7名）

(2) 基本相談含む相談および支援等実績（延件数）：年間3,820件（内、児童790件）

2 指定一般相談支援事業

実績：地域移行 0件（退院）、地域定着 0件

3 市町村事業受託

(1) 新潟市障がい者基幹相談支援センター（平成30年度より、代表法人として受託）

新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアムの構成法人として協定を結び、相談員1名、障がい児支援コーディネーター1名、事務員兼相談補助1名出向。

※新潟市障がい者基幹相談支援センター西運営コンソーシアム構成法人

社会福祉法人 自立生活福祉会、社会福祉法人 新潟しなの福祉会

社会福祉法人 新潟みずほ福祉会

(2) 障害支援区分認定調査

新潟市（令和2年4月1日～令和3年3月31日、実績なし）

他 燕市、魚沼市（実績2件）

4 地域での啓発活動

地域生活支援ネットワーク形成

新潟市地域自立支援協議会、新潟市西蒲区地域自立支援協議会、西蒲区地域福祉計画・西蒲区地域福祉活動計画推進委員会等に参画し、ネットワーク形成に尽力した。

## 【檜の木】

- 1 共同生活援助事業として、適正な事業運営に努めた。  
障害支援区分：区分 6～6 名、区分 5～3 名、区分 4～8 名、区分 3～10 名  
区分 2～8 名、区分 1 以下～3 名 平均区分：3.4  
利 用 率：95.7%
- 2 利用者の動向  
退所 1 名 入所 1 名  
利用者の年齢は平均 52.4 歳（男性 45.2 歳、女性 56.3 歳）  
最年少は 22 歳、最年長は 72 歳で、65 歳以上の方は 8 名となっている。
- 3 令和 2 年度の取り組み
  - (1) 「もみじ」（定員 4 名）、「あじさい」（定員 5 名）、「ケアホームみずき野壺番館」（定員 7 名）、「ケアホームみずき野式番館」（定員 5 名）、「さくら壺番館」（定員 6 名）、「さくら式番館」（定員 6 名）「さくら参番館」（定員 6 名）のニーズを尊重した個別支援計画の実践に努めた。
  - (2) 支援にあたっては、家庭的な雰囲気大切に、入居者の誕生日や季節の行事などを実施した。また、生活全般においては可能な限りご自分でできるように助言、支援に努めた。
  - (3) 利用者の、毎日の健康チェック、定期通院や緊急時の通院、治療等、バックアップ施設や日中活動先の事業所と連携し健康管理に努めた。  
夏季期間（7 月～9 月）は衛生面・水分摂取を考慮し、全ホームへ麦茶ペットボトルを定期購入し配分した。
  - (4) 防災対策として、ホームごとに避難訓練を実施。
  - (5) もみじ、あじさいの老朽化に伴い建て替えの検討を行った。
  - (6) 新型コロナウイルス感染防止対策
    - ① 噴霧器、除菌電解水給水器等の設置、補助金を活用しマスク、グローブ、エプロン、アルコール消毒剤等整備した。
    - ② 利用者の外出・外泊は、自粛をお願いした。
    - ③ 来客者へは、玄関での体温チェック、手指消毒、面会者健康チェックシートへの記載をお願いした。
    - ④ 職員へは、新しい生活様式の厳守を周知徹底した。また、県外への移動の自粛を呼びかけ、やむを得ず出かける場合は、事前に許可を得て、帰宅後一週間は健康観察のため自宅待機とした。
- 4 利用者の住環境整備のため以下の事業を実施した。
  - (1) みずき野壺番館 洗濯機の入れ替え 243,551 円
- 5 行事等の実施
  - (1) 地域との交流行事は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。

## 【みっと】

### 1 活動内容

- (1) 利用者（児）が居宅において自立した日常生活を営むことができるように支援した。
- (2) 地域や家庭との結びつきを重視し、関係市町村、他の障害福祉サービス事業所、地域の保健・医療・福祉サービスとの連携に努めた。
- (3) 利用者の人権を尊重し、利用者の立場に立った適切な支援を提供した。
- (4) 緊急事態宣言期間においては不要不急の外出支援を控えた。

### 2 活動報告

#### (1) 居宅介護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ人数	13	12	8	11	10	6	10	16	15	15	14	15	145

#### (2) 同行援護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ人数	3	2	5	3	2	3	3	4	6	3	3	6	43

#### (3) 行動援護事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ人数	3	4	8	8	9	9	9	11	11	5	8	8	92

#### (4) 移動支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ人数	47	41	83	89	85	107	143	124	131	113	102	126	1,191

#### (5) 福祉有償運送事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
利用延べ人数	59	51	103	109	103	122	163	137	142	121	119	140	1,369
車両運行時間	30時間 20分	29時間 10分	49時間 15分	56時間 25分	55時間 15分	60時間 30分	76時間 50分	71時間 20分	69時間 40分	60時間 50分	56時間 25分	52時間 25分	668時間 25分
運行距離(km)	1,084	1,045	1,704	2,001	1,815	2,031	2,575	2,409	2,283	1,776	1,833	1,998	22,554

## 〔おおらい〕

- 1 生活介護事業として、適正な事業運営に努めた。  
障害支援区分：区分 6～16 名、区分 5～15 名、区分 4～13 名、区分 3～8 名  
平均区分：4.5  
利 用 率：70.9%
  
- 2 利用者の動向  
利用者の年齢は平均 51 歳 6 か月（男性 5 0 歳 5 か月、女性 5 2 歳 6 か月）  
最年少は 18 歳、最年長は 82 歳で、65 歳以上の方は 13 名となっている。
  
- 3 令和 2 年度の取り組み
  - (1) 令和 2 年 4 月 1 日、生活介護・日中一時事業所として開設し、利用者の安心・安全に配慮し、ゆったりと過ごせる空間の提供に努めた。
  - (2) 利用者一人ひとりのニーズを尊重した個別支援計画の作成と実践に努めた。
  - (3) 嚥下・咀嚼機能等個々の状態に合わせた形態での食事・おやつを提供した。
  - (4) 身体状況に合わせた 2 種類の浴槽で安心・安全な入浴サービスの提供に努めた。
  - (5) 大型モニターでインターネットを使用した活動やストレッチ体操、リハビリ、レクリエーション活動など楽しみのある活動の提供に努めた。また、利用者に合わせて個別活動や四季の行事等、季節を感じられる活動の提供に努めた。
  - (6) 1 日 2 回（朝・昼）利用者のバイタルチェックを実施した。
  - (7) 新型コロナウイルス感染防止対策として噴霧器、アクリルボード等設置、アルコール消毒剤等整備した。また利用開始、終了時の徹底した清掃・消毒・換気を実施した。
  - (8) 新型コロナウイルス感染防止対策を施したうえで、緊急事態宣言期間においても事業を休止することなく、在宅障がい者（児）の受け入れを積極的に行った。
  - (9) 予定していた外部のボランティア（ヨガ教室、編み物教室、マジックショー等）については新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から全て受け入れ中止した。
  - (10) 特別支援学校生徒の職場体験（見学等）の受け入れを実施した。
  - (11) 社会貢献活動（公益的取組）として越後赤塚駅舎の清掃を定期的実施した。
  
- 4 職員の資質向上を図るため定期的にオンライン講義を視聴した。